

<対策のポイント>

産地が抱える課題解決のため、新技術を組み入れた**新たな営農技術体系構築の戦略づくり**、**データ駆動型農業の実践体制づくり**、**ノウハウの整理等の取組を支援**します。

<政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [2025年まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 産地の戦略づくり支援

- 労働力不足等の産地が抱える課題解決のため、担い手、ICTベンダー・農機メーカー、普及組織等の地域の関係者が参画し、**新技術を組み入れた産地としての新たな営農技術体系とその実践への道筋を明確化する取組を支援**します。

2. データ駆動型農業の実践・展開支援

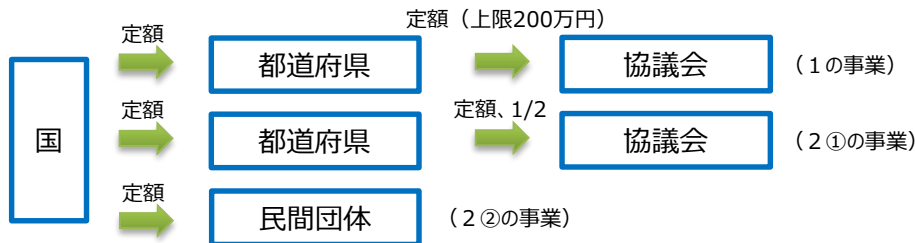
① データ駆動型農業の実践体制づくり支援

施設園芸産地を中心として、データに基づき栽培技術・経営の最適化を図る「**データ駆動型農業**」の実践を促進するため、**産地としての取組体制の構築や農業者の技術習得等を支援**します。

② スマートグリーンハウス展開推進

既存ハウスからデータ駆動型の栽培体系への転換に係る**課題の調査、ノウハウ整理、更なる低コスト化の検討等を支援**します。

<事業の流れ>



開発  
実証

新技術実装に向けた産地の戦略・体制づくり

産地としての戦略づくり

- 産地が抱える課題・目指す産地像の明確化
- 課題解決に資する新技術を組み入れた営農技術体系の検討・検証
- 産地に適した新たな営農技術体系とその実践に向けた道筋の明確化



実用化段階にある新技術

データフル活用の体制づくり

- 環境モニタリング装置等から得られる産地内の複数農業者のデータを収集・分析し、生産性・収益向上に結びつける体制づくり
  - > 農業者・企業・普及組織等による体制構築
  - > データ収集・分析機器の活用
  - > 既存ハウスのリノベーション 等
- 環境制御等の技術習得
- 既存ハウスからの転換にかかる課題の調査、ノウハウ整理、更なる低コスト化の検討

新たな営農技術体系の実践による持続的生産

【お問い合わせ先】 (1の事業) 生産局技術普及課 (03-6744-2218)  
(2の事業) 生産局園芸作物課 (03-3593-6496)